

令和 8 年 6 月 22 日
物流・自動車局技術・環境政策課

自動運転の高度化に向けた先進安全技術の検討成果を発表 ～第 7 期 ASV 推進計画の成果報告会を開催～

国土交通省は、ドライバーの安全運転を支援する先進安全技術の普及啓発を図るため、自動運転の高度化に向けた先進安全技術の検討成果を発表する「第 7 期先進安全自動車（ASV）推進計画の成果報告会」を 7 月 10 日（金）に開催します。

国土交通省では、先進安全技術の実用化に向けて、産官学の連携による「ASV 推進検討会」を設置し、平成 3 年度から約 35 年にわたりプロジェクトを推進してきました。プロジェクトの成果を基に、これまで衝突被害軽減ブレーキなどの先進安全技術が実用化されています。

2021～2025 年度を計画期間とする第 7 期ではシステムが安全運転に積極的に関与する技術の実現に向けた検討を行っており、今般、検討成果について下記のとおり報告します。

1. 開催日時

令和 8 年 7 月 10 日（金） 13:30～15:30

2. 会場

日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール（大ホール）（東京都千代田区日比谷公園 1 - 4 地下 1 階）（オンラインでも同時配信 ※現地参加の所定人数は 180 名）

3. 主催

先進安全自動車（ASV）推進検討会、国土交通省物流・自動車局

4. 参加登録方法

参加希望の方は以下のサイトへアクセスし、登録ください（参加無料）。

【参加登録受付サイト】<https://forms.cloud.microsoft/r/MREefeqQ6C>

参加登録の締め切りは 7 月 5 日（日）です。現地参加については、所定人数（180 名）に達した時点で参加登録を締め切らせていただき、所定人数に達していない場合には、事前の参加登録がなくとも当日参加いただけます。オンライン参加については、登録いただいたメールアドレス宛てに 7 月 6 日（月）に参加 URL をお送りさせていただきます。

5. その他

参加登録された皆様の個人情報は厳重に管理され、本報告会以外の目的に利用されることはありません。

※ ASV とは Advanced Safety Vehicle の略で、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車のことです。

ASV に関する詳細については、下記ホームページをご覧ください。

URL : <http://www.mlit.go.jp/jidosha/azen/01asv/index.html>

<問合せ先>

物流・自動車局 技術・環境政策課 菊池・橋津・橋本

代表：03-5253-8111（内線 42252、42254）、直通：03-5253-8591

- 「先進安全自動車(ASV: Advanced Safety Vehicle)」は、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車
- ASV技術の開発・実用化・普及を促進するため、産官学の連携による「ASV推進検討会」を設置し、平成3年度から約35年にわたり、プロジェクトを推進

実用化されたASV技術の例

前方障害物衝突被害軽減ブレーキ

前方の障害物との衝突を予測して警報し、衝突被害を軽減するために制動制御する装置

システムあり

ドライバーに対する警報により自分でブレーキ操作

システムあり

警報に気が付かない時は自分でブレーキ制御

システムなし

発見遅れにより、遅いタイミングで自分でブレーキ操作

ペダル踏み間違い時加速抑制装置

発進時や低速走行時に、障害物などに対してシフトレバーやアクセルペダルの誤操作によって衝突するおそれがある場合、急発進や急加速を抑制する装置

システムあり

踏み間違い

システムあり

急発進や急加速を抑制

システムなし

急発進や急加速

レーンキープアシスト

走行車線の中央付近を維持するよう操作力を制御する装置

システムあり

操舵支援
運転負荷軽減

システムあり

車線逸脱警報

システムなし

車線中央付近を走行するように自らハンドル操作を行う

車線逸脱警報装置 (LDW)

車線から逸脱しようになった場合、ドライバーに警報する装置

システムあり

はみ出してしまった!

システムあり

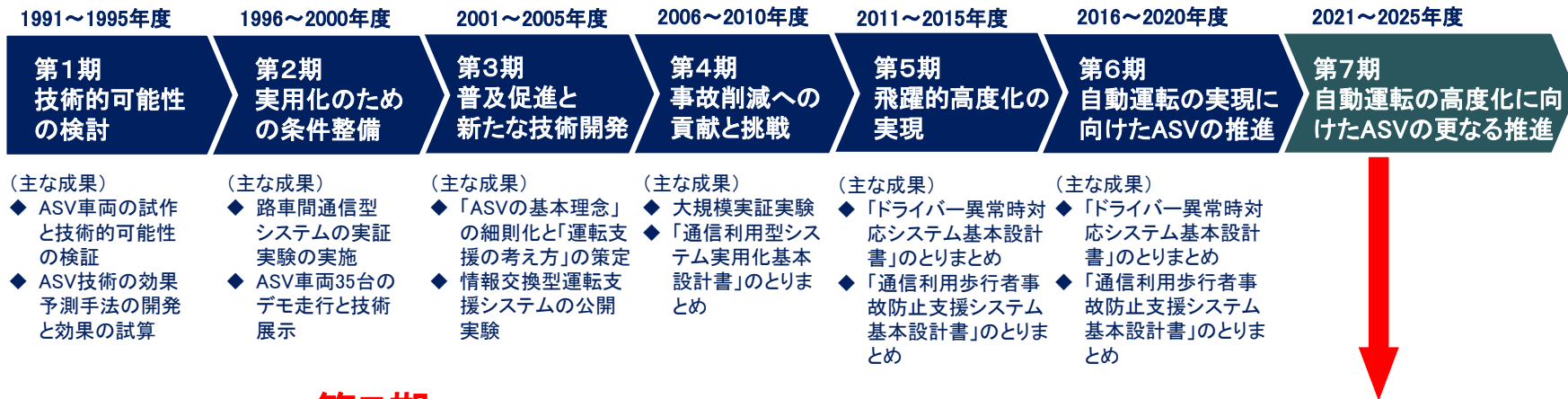
はみ出してしまった!

システムなし

気がつかない場合も!!

ASV推進検討会



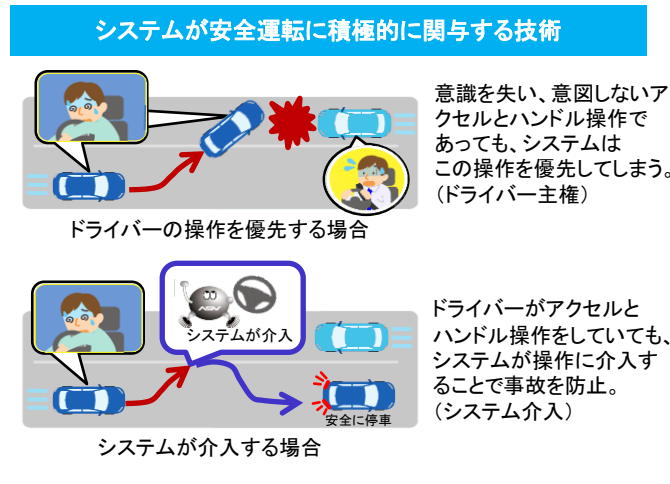


第7期(2021~2025年度)

「自動運転の高度化に向けたASVの更なる推進」

(主な検討項目)

- 誰もが使用する技術となったASVの正しい理解・利用の徹底的な普及戦略
- ドライバーの操作に対してシステムの操作を優先させる安全技術のあり方の検討
- 通信・地図を活用した安全技術の実用化と普及に向けた共通仕様の検討
- 自動運転車が備えるべき安全の範囲・水準の探索のための考察



実用化された主なASV技術

車両横滑り時制動力・駆動力制御装置(ESC)



日野自動車(株)ホームページ

定速走行・車間距離制御装置(ACC)



日産自動車(株)ホームページ

車線維持支援制御装置(LKAS)



本田技研工業(株)ホームページ

衝突被害軽減ブレーキ(AEBS)



富士重工業(株)ホームページ